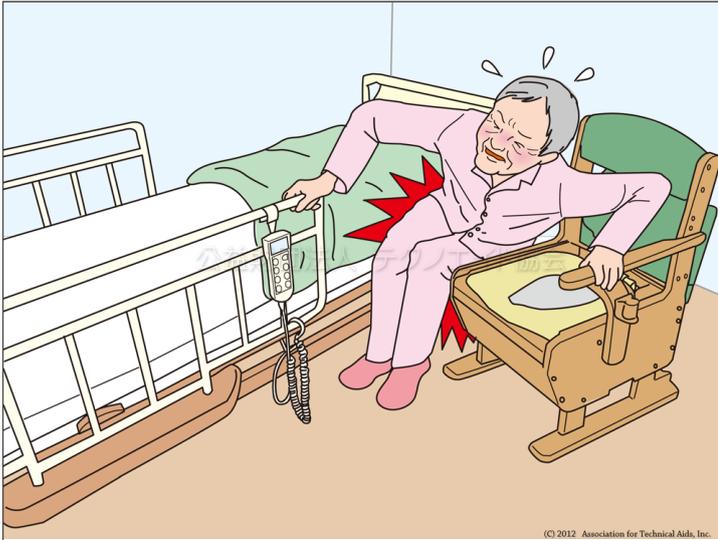


Case : 28

ベッドとポータブルトイレの間に入り込んでしまい、ケガをしそうになる

場面の説明

ポータブルトイレを利用しようと、一人でベッドから移乗しようとしてうまくいかなかった



利用シーン	 移乗  立ち座り  排泄
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 腰掛便座
分類コード (CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

ひとりで移乗できない人が、介助者を呼ばずに移乗したため、このような状態になってしまうことがあり、ポータブルトイレをベッドサイドに置くこと自体が事故のきっかけとなることも考えられます。また、キャスタ付きのベッドの場合は、移乗の際にベッドが動いてしまうことが考えられるため、キャスタのロックを確認するなど、安全を確保しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：移乗をひとりでできる身体状態ではなかった
- 人：ベッドのキャスタのロックをかけ忘れていた
- 環境：床面がすべりやすかった
- 環境：ベッドとポータブルトイレの高さが適切ではなかった
- 環境：ベッドとポータブルトイレの間に隙間があった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 28

ベッドとポータブルトイレの間に入り込んでしまい、ケガをしそうになる

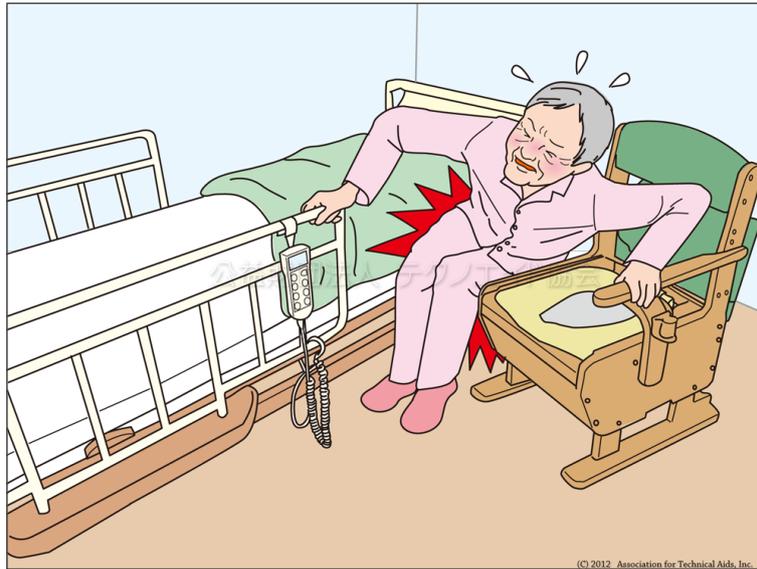
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ポータブルトイレを利用しようと、一人でベッドから移乗しようとしてうまくいかなかった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ